

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	bonキッズ富田林		公表日				2024年 12月 24日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・グループ活動がしやすいよう空間を広げた	・個別活動の際、空間が広がったことで、落ち着かない事があるので、環境の調整をしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	・個別活動の際、空間が広がったことで、落ち着かない事があるので、環境の調整をしている	・求人誌などのスタッフ募集の仕方を検討していく	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・危険が予測される場所では声掛けよう心掛け	・室内はバリアフリーであるが、階段など建物構造上の問題をどのように周知していくか検討中	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・空き時間がないため手の空いているスタッフが片付けを行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・環境が変わり過ぎないよう衝立などで対応し	・急な対応が少し遅れる事があった。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		半期のモニタリング以外でも6回ご利用いただく	・空き時間が限られているため、全員揃っての会議は出来ない時がある。連絡方法を色々検討中	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		いただいたご意見で出来る範囲で改善を試みて	人員不足により実施出来ない事がある。日々は難しくても長期休み期間に実施していけるよう調整をしていく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		法人の全体会議等で他事業所との情報交換で改	・事業所内だけでは案が出にくい事があった。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人内の外部講師研修をスタッフ全員が受け	・研修について意見交換を行う時間が取れなかった	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		半期のモニタリング以外でも6回ご利用いただくごとに振り返りを実施している		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		半期のモニタリング以外でも6回ご利用いただくごとに振り返りを実施している		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・打ち合わせの時間を増えた事で共有しやすくなった		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・進級のタイミングでアセスメントシートの手	・急激に出来る事が増える時期があると、評価より日々の行動観察が進んでいる時がある。評価の時期について検討中	
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・支援目標に沿い段階を踏んで進めるためスタッフ間で意見交換が出来ている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・安定の活動9割、新しい活動1割で変化は少しずつしている		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・集団に入る練習のため、複数の大人と関わる事から始めている	・同じ時間に複数人の児発利用者が少なくなったため、児発は個別になってしまっている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援時間が伸びたため時間ごとの打ち合わせが出来なくなった分、空き時間を打ち合わせの時間にした。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援時間が伸びたため時間ごとの打ち合わせが出来なくなった分、空き時間を打ち合わせの時間にした。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・園・事業所間で日々の様子を教えてもらい、園での取り組み・課題の共有をしてもらえることで、事業所での課題も増えた	・個別と集団の違いが出て来るので、集団に活かせる内容に変更していく事が課題
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・今年度は移行の際の会議は依頼が無かった	・保護者の依頼がないと学校に受け入れてもらえない事が多い。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		利用者さんが居ない為、連絡が取りにくい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		地域の公園がなく個別療育で短時間であるため今後も活用の予定はない
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			チラシは頂いているので、掲示の仕方の工夫を検討中	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		今年は契約時から変更があった所を一人お一人に追加説明をした。	掲示もあるが見えにくい所があるので掲示場所を検討中
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		スタッフに空きがあれば、随時相談を受けられる	夕方に空きがなく去年より件数が減ってしまった

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	今年には保護者研修の開催が出来なかったのと同じ年のお子さんの情報などを承を得てお話をさせていただいた	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	午前中などの比較的利用者さんがいない時間であれば対応している。子どもからの相談は療育中に行う事もある	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		掲示方法・周知の仕方を検討中
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		行事が無いため、参加していただける機会がない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○		来室時に発作の状況など聞き取りを徹底している。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		研修は繰り返し同じ内容を皆が覚えられるまで繰り返している。研修の度に記憶に残るようにしてきた
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		掲示の場所について検討中
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○			